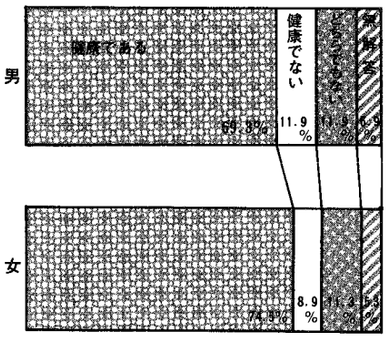
73%が健康と感じている

「健康展」アンケート集計結果

図Ⅰ ▶あなたは現在健康ですか？……



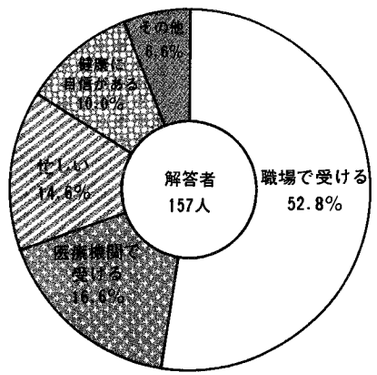
〈健康か？……〉

健康だと感じている人は、全体で73%であり、年令別に見ると、39才までは84%、40～69才は66.4%であった。加齢とともに健康でないと感じている人は増加しており、特に男女共に60才以上に増加が目立つ。

〈村事業への参加状況は？……〉

総合検診を毎年受けている人は60.3%、毎年でないが受けている人が10.6%と全体の七割は受診していた。しかし、がん検診については、一度も受けたことのない人が解答者中、胃、子宮がん共に六割と過半数以上であった。検診を受けていない理由は、図Ⅱの様である。

図Ⅱ ▶村で検診を受けない理由……



〈会場での関心のあったものは何か？……〉

来場者の多くは、ガンに関してのパネルに強い関心が見られ、$\frac{1}{4}$の者が“興味をもって見た”“恐ろしいと思う”等答えていた。又、むし歯についても、“月潟村は県内でトップクラスのむし歯保有率に驚いた”等むし歯の多いことを改めて感じていた。

〈健康を守るために……〉

健康を守るための第1に食生活と答えた者が最も多く、特に塩分を気をつけたい、121人、バランスを考える、50人と解答者の六割をしめた。

歳時記

すすはらい

最近は年末になると、団地やマンションの郵便受けに、〝ハウス・クリーニング〟というパンフレットがひんぱんに投げ入れられます。

「ガラス、床、バス、トイレ、キッチンなどどこでも、クリーニング」というう たい文句――つまり掃除いたしますという新商売です。

正月を迎えるからには、住居もきれいにしたい、でも暇がないという共働きの主婦などに受けているようです。

一昔前なら、すすはらいといって、暮れに一家をあげて大掃除をして、ふだんは手の届かない天井のすす、床下のゴミまで取り払って家の中をすっかり清めたものです。

しかし、いまは、子供も塾通いで多忙だったりするためでしょうか、そういう光景はあまり見られなくなりました。

このすすはらいは、いまも神社などの行事として行われています。たとえば東京の明治神宮では、毎年十二月二十八日に、煤祓の儀として神職数名がおはらいを受けたのち、葉のついた長い竹で、神殿の棧などをはらい清めるのだそうです。

昔は御神灯はロウソクだったので、受け皿にすすがたまりました。しかし、いまはロウソク型の電気なので、すすはたまりませんが、こうした行事は残っているわけです。

ところで、正月が近づくと、掃除も大切ですが、料理の用意も急がなければなりません。年末には、多種類、大量の食品が出回りますので、厚生省では、十二月を「食品・添加物等の年末一斉取締り」とし、食品関係業者を対象に、一斉取り締まりを行います。

この取り締まりは、特に、食肉製品、魚介加工品、生菓子などを重点に、保存温度、添加物、表示などをチェックします。

わたしたちも、この時期の食品衛生には特に注意したいものです。

お元気ですか？ 歳末御見舞を実施

長期療養者や、入院者及び遠くはなれて老人ホーム等で暮らしておいでの方々に十二月六日、村長はじめ民生委員、担当課長以下で歳末見舞を実施しました。

寒さに向う季節御家族共々元気でお暮らしくださるようお祈りします。

長期療養者	26人
病院・施設等	22人
老人ホーム入居者	5人
老人のみの世帯	28人
その他	8人

市内局番が「3ケタ」に

新潟市を中心とした新潟都市圏（新潟局管内、白根局管内）の電話番号の市内局番が「3ケタ」に、市外局番は「025」に統一され、この区域内相互の市外局番をダイヤルすることなく、通話ができるようになります。

白根局管内の市内局番は、現在の市外局番“0253”から“3”を切離し、“75”から“375”となります。

加入者番号の変更はなく、他の地域への通話や、他の地域からの通話は今までどおりです。

実施月日　61年11月1日（土）午前0時

※今回、約10ケ月近く前に実施月日を決定したのは、電話番号を記載した名刺やカレンダーなどの印刷物、看板等を作成していただく等の準備に必要な期間を考慮したものです。

届け出による国籍取得について

―法務局から―

昭和六十　年一月から改正国籍法が施行され、一定の条件を備えている外国人は、届け出ることにより日本の国籍を取得できるようになりました。

なお、改正国籍法施行前に、日本人母から生まれた子も、国籍取得の届け出ができます。

この届け出の期限は、昭和六十二年末までとなっていますので、届け出をしようとする人は、早目に法務局にご相談ください。

■条件

一、昭和四十年一月一日から五十九年十二月三十一日までに生まれたこと。

二、日本国民であったことがないこと。

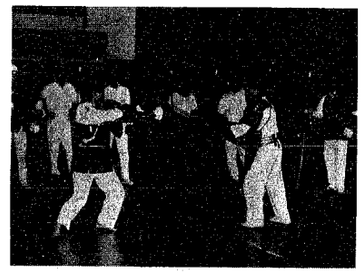
三、出生の時に母が日本国民であったこと。

四、母が現に（または死亡の時に）日本国民であること。

団体・個人とも入賞

西蒲原郡銃剣道大会

第十五回弥彦神社奉納銃剣道大会が、十一月十日弥彦体育館で開催されました。



◀練習中の月潟チーム

今年も西蒲原銃剣道加盟町村全域より多数の精鋭選手が参加、来賓に弥彦村長、衆参両議員（代理）、県銃剣道連盟会長外多数の先生方より祝辞があり一般参観者の見守る中に、団体戦より熱戦が開始されました。

団体一組三名、月潟村一チームが参加、試合は高成績と勝ち進み、黒埼B組と対戦、一対二と惜しくも破れ、三位と成りました。

個人戦では少年の部（小中学生）、青年の部、高年の部に別れ月潟村は青年、高年の部に別れ、月潟村は青年、高年両部に参加、高年の部では三回戦で惜敗、青年の部では二位の高位に入賞しました。

村内の皆様も銃剣道をとおして、心身の鍛錬はもとより体位高上の上からも多数の参加を心からお待ちしております。

又昭和五十五年には新潟県大会に三位入賞に輝いた事もあります。

成績は次の通りでした。

団体　三位　高木　孫市
竹石三佐雄
本間　正義
竹石三佐雄

個人　二位